

## 『ことばの力』が高まる教室づくりのために

ことばの力を高める取組みを効果的に進めるには、日頃からことばにこだわるのが大切です。先生は子どもたちの見本となるような心のこもったことばで話せていますか。子どもたちのつばやきを大切に受け止めていますか。「はい」「ありがとう」「ごめんね」が普段から聞こえる教室ですか。

ことばを大切に作る学校、学級をつくりましょう。

### ことばの力が高まる教室とは・・・

#### ◎ ことばにこだわり、ことばを意識的に使う教室

##### ・先生のことばへのこだわり

先生が子どものことばをしっかり聞きましょう。子どもからの話しかけには「はい」としっかり答え、何かを手伝ってくれたときなどは「ありがとう」。必要に応じて率直に「ごめんね」ということも大切です。また語尾まで明確に話すなど、先生がことばを大切に扱う姿勢を常に持ちましょう。

##### ・ノートづくり

単に黒板等を写すだけでなく、自分の考えや、友だちの意見などを表現するノートをどのようにして作るのか、具体的なノート指導を行いましょう。どの授業においても常に自分の考えを書く習慣をつけるようにしましょう。

##### ・子どもの主体的な「話し合い」の日常化

授業中の話し合い活動はもちろん、もめごとなどもことばを大切に作るチャンスです。お互いの思いをことばにして伝え合い、解決に導く体験をたくさん持たせましょう。

また、学級のレクリエーションや係など何が必要でどのように進めるかなど、学んだ話し合いの手法を実生活に生かす場面を意図的に作りましょう。

##### ・「日記」のすすめ

細かな内容の指導をせず、気楽に自由に書かせるのが毎日続けるコツ。ただし、書かない日は「なし」と書かせておきましょう。先生は一言でも返事を書きましょう。そして、ずっと「なし」が続く子どもは、生活を見る視点が持てない場合と、書きたくない事情がある場合があります。個別に指導しましょう。

#### ◎ 何でも言い合える・安心できる教室

- ・失敗や間違いを笑わない 間違った時こそ褒めるチャンス！「間違ったから、みんなが深く勉強できるね。」
- ・欠席したらお手紙を お手紙用紙を準備しておき、クラスメートと先生からの温かいひとことをかけましょう。
- ・けんかは思いを伝えるチャンス しっかりと自分の考えをことばにして、お互いに納得いくまで話し合おう。

#### ◎ 本が身近にある教室（読書活動の推進）

- ・週に1度は読み聞かせ 子どもの興味、情緒的発達、想像力、言語能力を刺激すると言われています。
- ・一斉読書で「ゼロ冊読書児童」をなくす 本に興味のない子どもにお勧めの1冊を渡してきましょう。
- ・おすすめ本の紹介 まず先生から子どもたちへ。そして子ども同士、リストの活動を参考にしましょう。
- ・アニメーション クイズなどを交えたり、ストーリーの並べ替えをしたりして、楽しくみんなで読書ができます。
- ・学習の中での図書館活用 調べ学習を計画的に組み込む中で、いつでも自発的に調べる子どもに。
- ・掲示物の工夫 教室だけでなく、廊下や階段、玄関などにもおすすめ本や子どもの作品を掲示しましょう。
- ・学校行事の工夫 校内読書感想文大会や読書月間を設けるなど、本に親しむ仕掛けを考えましょう。

**先生が本を読んで、その感想等を日ごろから話題にできるといいですね。**

#### ◎ 魅力的な国語の授業づくり、豊かな言語活動のある学習や活動

- ・「ことばの基礎力」を育み、育んだ力を活用する場の設定のある楽しい授業・活動を！

## 『ことばの力』を確実に育む

～「できるかなリスト」～

### 子どもたちに確かなことばの基礎力を

先生方の学校の子どもたちは、授業の理解や表現に課題が見られたり、友だちの間でトラブルになったりすることはありませんか。それは、ことばがうまく使えていないためではないでしょうか？

ことばは、人が考え、学び、伝達する等、生きていくために欠かせない大切なものであり、「ことばの力」は学力やコミュニケーション力の基礎となる力です。

ことばは幼少期から少しずつ積み上げ、確実に力をつけていくことが大切です。学校においては国語の授業はもちろんのこと、意識的・系統的にすべての教科・領域、学校生活のあらゆる場面で繰り返し指導し、活用する場面を設定する必要があります。

このたび、小学校のそれぞれの段階で、ことばを使ってできるようになってほしい基礎的な内容を「できるかなリスト」としてまとめました。

すべての子どもが「できるよ！」と答えられるように、活用シートを参考にどんどん実践を進めていただけたらと思います。

### このリーフレットの使い方

#### ● 内容をいつでも確認できるように、身近なところに置いておきましょう

#### ● 活用シートは

➤国語や他の教科等で学習したことを定着させるために使いましょう。

➤当該学年の内容に加え、それまでの学年の内容もくり返し使いましょう。

- ・国語の授業で学習した内容の補充として。
- ・国語以外の教科や活動でことばの力を深める手立てとして。
- ・決まった時間（朝の会、国語の授業のはじめの時間など定期的に）の課題として。
- ・家庭学習教材として。

➤中学校でも宿題プリントにするなど、活用してみましよう。

# 「ことばのちから」 できるかなリスト

	低学年		中学年		高学年	
	Keyword		Keyword		Keyword	
話すこと 聞くこと	〔話す〕身近なこと 事柄の順序 〔聞く〕知らせたいことや聞きたいことを落とさない 〔話し合う〕相手の発言を受ける 話をつなぐ		〔話す〕理由や事例 話の中心 〔聞く〕記録 質問 伝えたいことや聞きたいこと 〔話し合う〕司会の役割 互いの意見の共通点や相違点		〔話す〕事実と感想、意見の区別 話の構成 〔聞く〕話し手の考えとの比較 〔話し合う〕互いの立場や意図 計画的	
	内容	活用シート	内容	活用シート	内容	活用シート
	1 「私は…です」など主語を明確につけて話す 2 「初めに…次に…」など順序に気をつけて話す 3 「私は…です。なぜなら…」など簡単な理由をつけて話す 4 大切なことを、数えながら聞く 5 発言に対して「あなたはなぜ…なのですか」などと質問する 6 簡単なインタビューをする	1 だれがなにをしたかはなそう 2 ひみつのマークあてゲーム 3 たからものをしょうかいしよう 4 だいいなお話はいくつ？ 5 質問じょうずになろう 6 インタビュー名人になろう	7 「私は…です。理由は〇つあります。一つ目は…」などと結論を先に、その理由を後につけて話す 8 話を聞いて、大切な言葉（単語）や箇条書きでメモをする 9 話を聞いて、自分と同じ意見、異なる意見をグループ分けする 10 司会、提案者などの役割を意識して話し合う	7 その生き物が好きなわけ 8 お話を聞いて大切なことをメモしよう 9 自分の意見とみんなの意見をくらべよう 10 よりよい話し合いをしよう	11 はじめに結論を話し、意見を述べる 12 話し手の意見と自分の意見の同じところと異なるところを比べて聞き、自分の意見を述べる 13 賛成と反対の立場を決めて、それぞれの立場から理由を明確にしながらか話し合う	11 自分の考えをわかりやすく伝えよう 12 自分の意見と比べて聞き取ろう 13 立場を決めて話し合おう
書くこと	Keyword		Keyword		Keyword	
	〔題材〕経験したこと 想像したこと 〔構成〕順序の整理 簡単な構成 〔考えの形成〕内容のまとめ		〔題材〕相手や目的を意識 経験したこと 想像したこと 〔構成〕書く内容の中心 段落相互の関係 〔考えの形成〕考えと理由や事例の関係		〔題材〕目的や意図 相手に伝わる 〔構成〕筋道 文章全体の構成や展開 〔考えの形成〕事実と感想、意見との区別 自分の考え	
	内容	活用シート	内容	活用シート	内容	活用シート
1 主語・述語が明確な文を書く	1 ①ぶんをつくろう 1 ②だれがなにをしているか書こう	5 「5W1H」を明確にして書く 6 4コママンガや4コマのお話を作るなど、起承転結を明確にして、書く 7 効果的な構成（始め・中・終わり）や段落を工夫したり、接続詞を意識して書く 8 新聞の主要な構成を知り、ミニ新聞を書く 9 相手に応じて、適切な構成・言葉づかいで手紙を書く 10 見出しと簡単な説明、絵や図・グラフなどを組み合わせてパンフレットを書く 11 最も心に残ったことに、経験や想像を交えながら、自分の考えを述べ、読書感想文を書く	5 くわしく書いて伝えよう 6 わたしは作家さん 7 今日学んだこと、教えるよ！ 8 自己しょうかい新聞 9 お礼の手紙を書いてみよう 10 買いたくなる広告を作ろう！ 11 読書感想文を書こう（中級）	12 事実と感想、意見を区別して段落や構成を考えて書く 13 引用したり、図表などを用いたりして書く 14 絵を見て物語を書く ・1枚の絵を見て状況を描写する ・複数の絵を見て物語を書く 15 フリップなどの提示資料を工夫したプレゼンテーションを行う 16 完成した文章などを、読み返して、より良いものになるよう加筆・修正を行う 17 読んだ本について自分なりのテーマを設定し、本とテーマの関わりについて、読み手にわかるように経験や考えを交えて感想文を書く	12 ①将来の夢 12 ②事実と感想と意見を区別して 13 データにもとづいて 14 ①描写名人になろう 14 ②物語を作ってみよう！ 15 プレゼンテーションをしよう 16 よりよい文章に「推敲」しよう 17 読書感想文を書こう（上級）	
読むこと	Keyword		Keyword		Keyword	
	〔内容の把握〕時間的な順序 事柄の順序 内容の大体 〔解釈〕重要な語や文 〔解釈〕場面の様子 登場人物の行動		〔内容の把握〕段落相互の関係 考えとそれを支える理由や事例の関係 〔解釈〕中心となる語や文 要約 〔解釈〕登場人物の気持ちの変化や性格 情景と場面の移り変わり		〔内容の把握〕事実と感想、意見との関係 文章全体の構成 要旨 〔解釈〕文章と図表 論の進め方 〔解釈〕人物像や物語などの全体像 表現の効果	
	内容	活用シート	内容	活用シート	内容	活用シート
1 文頭の言葉に注目し時間や事柄の順序を読み取る 2 大事な言葉や文を選ぶ ・繰り返し出てくる言葉 ・まとめている文 3 場面の様子や登場人物の行動を読み取る 4 文章全体を読んで、言葉や短い文章にまとめる 5 様々な本を楽しんで読む 6 学習した作家の他の作品を読む	1 時間やじゅんじょを表すことばを見つけよう 2 ①くりかえし出てくることばを見つけよう 2 ②まとめている文を見つけよう 3 登場人物がしたことを読もう 4 おはなしをまとめよう 5 楽しみながら本を読もう 6 同じ作者の本を読もう	7 つなぎの言葉に気を付け段落相互の関係に着目する 8 段落に小見出しをつけ、それぞれの関係をとらえる（テーマ、理由、例示、意見、まとめ・・・など） 9 キーワードをとらえ、文章を要約する 10 登場人物の気持ちの変化や性格を読み取る 11 物語の冒頭と結末、場面の様子、人物に注目して全体を読む 12 さまざまなジャンルの本を幅広く読む	7 ①接続語（つなぎ言葉）を使おう 7 ②文と文をつなぐ言葉 8 ①何が書いてある段落かな？① 8 ②何が書いてある段落かな？② 9 お話を一文で表現しよう 10 物語の登場人物の性格をまとめよう 11 それはどんなお話でしたか？ 12 いろいろな分野の本を読んでみよう	13 文章の構成や論の進め方を捉えて要旨を把握する 14 文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけ、読み取る 15 登場人物の関係や心情を、情景描写を基に読み取る 16 物語の冒頭文を書き換えてみる 17 古典を読み、昔の人の見方や考え方を想像する 18 コマーシャルを見比べて、メッセージを読み取る 19 好きな歌の歌詞の解説をする	13 ①どのように伝えているのかな？① 13 ②どのように伝えているのかな？② 14 図と表を関係付けて読もう 15 すぐれた描写を味わい、報告しよう 16 書き出しの工夫を考えよう 17 むかしの人の考えにふれてみよう 18 広告を読み取ろう 19 お気に入りの一曲を解説しよう	
言語の特徴 や使い方 我が国の 言語文化	Keyword		Keyword		Keyword	
	〔話し言葉と書き言葉〕姿勢や口形、発声や発音に注意して 〔文や文章〕文の中における主語と述語の関係 〔言語文化〕昔話 神話 伝承		〔話し言葉と書き言葉〕言葉の抑揚や強弱、間の取り方 ローマ字 〔文や文章〕主語と述語の関係 修飾と被修飾の関係 指示語 接続語 〔言語文化〕短歌 俳句 慣用句 故事成語		〔文や文章〕語句の係り方 文と文の接続 〔表現の技法〕比喩や反復 〔言語文化〕古文 漢文 方言 共通語	
	内容	活用シート	内容	活用シート	内容	活用シート
1 口の形、声の大きさに気を付ける 2 主語と述語を見つける	1 きこのうのばんごはん 2 主語と述語をみつけよう	3 簡単な単語をローマ字で読み書きする 4 短歌や俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ、音読をする 5 ことわざや慣用句、故事成語の意味を知る	3 ①ローマ字にちょうせんしよう 3 ②ローマ字しりとり 4 ①俳句に親しむ 4 ②短歌に親しむ 4 ③あなたも一句 5 ことわざや慣用句を知ろう	6 ていねい語の使い方を 7 比喩や反復などの表現の工夫を見つける 8 共通語と方言の違いを理解する	6 敬語を使って、ワンランクアップ 7 ヒーユ山ヘレッツゴー！ 8 方言を共通語に直す？	